

令和4年度
東海市社会福祉協議会
事業報告書

令和5年6月
社会福祉法人 東海市社会福祉協議会

令和4年度 事業報告書 目次

1 社協の基盤づくり事業

(1) 地域福祉活動計画策定	1
(2) 社会福祉協議会会員募集・福祉活動振興助成	1
(3) 赤い羽根共同募金・福祉活動振興助成	2
(4) 寄附	3
(5) 収益事業	4
(6) 広報・情報発信	4
(7) 理事会・評議員会・部会・評議員選任解任委員会・監事会	5

2 地域づくり事業

(1) 地域支えあい事業	7
(2) 地域つながり支援	7
(3) つどいの場支援 茶論(ふれあいいいききサロン)	8
(4) つどいの場支援 ゴムバンド運動(筋力づくり推進)	8
(5) つどいの場(子ども)	9
(6) 地域共生こころんサポートセンター(ご近所困り事支援)	9
(7) 防災・災害救援	10
(8) 地域交流推進(災害時相互応援及び交流協定締結団体との事業)	11
(9) 軽トラック貸出	11
(10) 福祉団体支援	12
(11) 社会福祉大会	12
(12) 社会を明るくする運動推進	13

3 福祉教育の推進事業

(1) 小学校、中学校、高校、大学で福祉教育講座	14
(2) ボランティア・福祉体験作文・ふれあいフォトコンクール	14

4 ボランティア活動の推進事業(ボランティアセンター事業)

(1) ボランティア相談	・・・・・・・・・・・・・・・・	16
(2) ボランティア情報発信	・・・・・・・・・・・・・・・・	16
(3) ボランティア養成	・・・・・・・・・・・・・・・・	17
(4) ボランティアゼミ	・・・・・・・・・・・・・・・・	17
(5) ボランティア交流	・・・・・・・・・・・・・・・・	19
(6) ボランティア団体への貸館	・・・・・・・・・・・・・・・・	19
(7) ボランティアセンター運営	・・・・・・・・・・・・・・・・	19

5 子ども、障がい者、高齢者等支援事業

(1) おもちゃ図書館	・・・・・・・・・・・・・・・・	21
(2) ご近所子ども交流	・・・・・・・・・・・・・・・・	21
(3) キャンプ用品等貸出	・・・・・・・・・・・・・・・・	22
(4) わくわく! 科学実験教室	・・・・・・・・・・・・・・・・	22
(5) 精神障がい者サロン(名称:おいじゃん)	・・・・・・・・・・・・・・・・	22
(6) 配食サービス(障がい者、高齢者)	・・・・・・・・・・・・・・・・	22
(7) 声の広報作成	・・・・・・・・・・・・・・・・	23
(8) 買物バス(買物支援)	・・・・・・・・・・・・・・・・	23
(9) 聴かせてねっと(高齢者訪問傾聴事業)	・・・・・・・・・・・・・・・・	24
(10) 移送サービス	・・・・・・・・・・・・・・・・	24
(11) 福祉車両・車いす貸出	・・・・・・・・・・・・・・・・	24
(12) 福祉機器リサイクル	・・・・・・・・・・・・・・・・	25
(13) 高齢者世話付住宅生活援助員派遣	・・・・・・・・・・・・・・・・	25
(14) ダイヤモンド婚者・金婚者を祝う会	・・・・・・・・・・・・・・・・	26

6 相談事業

(1) 高齢者相談支援センター運営	・・・・・・・・・・・・・・・・	27
(2) 認知症相談	・・・・・・・・・・・・・・・・	28
(3) 困窮者支援(貸付、給付、食糧支援)	・・・・・・・・・・・・・・・・	29
(4) 総合的な権利擁護(日常生活自立支援事業)	・・・・・・・・・・・・・・・・	30

(5) ふくしの相談窓口	・・・・・・・・・・・・・・	30
(6) ひきこもり支援	・・・・・・・・・・・・・・	31
7 福祉サービス事業		
(1) 居宅介護支援事業(ケアマネ事業)	・・・・・・・・・・・・・・	33
(2) 訪問介護事業(ヘルパー事業) 障害福祉サービス事業	・・・・・・・・・・・・・・	33
(3) 通所介護事業(デイサービス事業)	・・・・・・・・・・・・・・	34
(4) 障害者地域デイサービス事業	・・・・・・・・・・・・・・	34
(5) 有償福祉サービス事業	・・・・・・・・・・・・・・	35
(6) 訪問援助員派遣事業	・・・・・・・・・・・・・・	35

1 社協の基盤づくり事業

(1) 地域福祉活動計画

地域福祉の推進を図る社会福祉協議会の活動計画を策定した。

基本理念	「ともにささえあい おもいやるまちづくり」
基本目標	<p>○あんしん 地域で支えあい、解決できる話し合いの場づくり 重点取組:地域つながり支援事業 防災・災害救援事業</p> <p>○いきいき ひとがつながり、役割を持つ場づくり 重点取組:ボランティアセンター事業 地域共生こころんサポートセンター事業</p> <p>○ふれあい 活動に参加できる場づくり 重点取組:集いの場関連事業 福祉教育推進事業</p>
計画期間	令和3年度(2021年度)～令和5年度(2023年度)

(2) 社会福祉協議会会員募集・福祉活動振興助成

地域福祉を推進する中で、地域生活課題に対応したさまざまな事業に地域の皆様のお力添えをいただき取り組んでいます。会費はこれらの事業を行うための財源とするため募集をするもの。また、地域の皆様の地域活動費として会費の一部を使って町内会・自治会に助成する。

会員募集の実績		令和元年度		令和2年度	
		会員数	会費(円)	会員数	会費(円)
一般会費	世帯	19,076	5,529,600	18,917	5,260,950
特別会費	事業所	407	1,791,000	410	1,750,560
賛助会費	役員、民生委員等	464	475,000	452	462,000
団体会費	福祉団体等	26	74,000	26	77,000
計		——	7,869,600	——	7,550,510
		令和3年度		令和4年度	
一般会費	世帯	17,015	7,955,039	16,879	7,707,750
特別会費	事業所	398	2,447,000	393	2,492,000
賛助会費	役員、民生委員等	422	422,000	437	440,000
団体会費	福祉団体等	25	75,000	25	75,000
計		——	10,899,039	——	10,714,750

- 一般会費の募集ついて4月のコミュニティ例会で説明し、5～6月で依頼。
- 一般会費は、令和3年度から500円にしたが、感染症の影響や町内会等の加入者が減少したことにより会員数が減少。
- 特別会費は、令和3年度から5,000円以上にしたことにより、感染症の影響があるにもかかわらず多くの企業からご協力をいただき増額。
- 町内会・自治会の会費については、福祉活動振興助成金として会費額の15%を各町内会・自治会へ交付。

(3) 赤い羽根共同募金運動・福祉活動振興助成

共同募金運動は、地域福祉の推進を目的として、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう自ら地域をつくっていく住民・団体の活動を財源面から支援する役割を果たすことを目的に募金運動を行う。また、地域の皆様の地域活動費として募金の一部を使って町内会・自治会に助成する。

なお、集まった募金の約7割は、募金をいただいた東海市で使われ、残りの約3割は、市区町村を越えた広域的な災害救援等の課題を解決するための活動に使われる。

赤い羽根共同募金の 実績	令和元年度		令和2年度	
	募金数	募金額(円)	募金数	募金額(円)
世帯募金	19,955	5,461,200	19,661	5,336,881
法人募金	332	1,543,890	345	1,599,000
学校募金	18	228,107	18	255,337
街頭募金	6	94,530	1	30,000
職域募金	4	230,088	4	253,448
歳末募金	13	644,525	13	514,150
その他募金	18	234,601	11	321,949
計	——	8,436,941	——	8,310,765
	令和3年度		令和4年度	
世帯募金	17,849	7,697,156	17,636	7,283,526
法人募金	334	2,035,000	326	2,126,000
学校募金	18	238,340	20	240,721
街頭募金	1	20,000	5	104,014
職域募金	5	261,762	4	190,166
歳末募金	13	554,646	13	558,985
その他募金	15	175,018	56	270,630
計	——	10,981,922	——	10,774,042

- 世帯募金について、4月のコミュニティ例会で説明し、5～6月で依頼。
- 世帯募金は、令和3年度から500円にしたが、感染症の影響や町内会等の加入者が減少したことにより会員数が減少。
- 法人募金は、令和3年度から5,000円以上にしたことにより、感染症の影響があるにもかかわらず多くの企業からご協力をいただき増額。
- 町内会・自治会の募金については、福祉活動振興助成金として募金額の15%を各町内会・自治会へ交付。

(4) 寄附

住民、団体、事業所の地域福祉への貢献の「お気持ち」の金品を受け、寄附の趣旨に沿って使途していく。

寄附の実績	令和元年度		令和2年度	
窓 口	34件	1,110,893円	24件	1,313,977円
缶募金	19件	192,197円	9件	56,861円
設置個所数	115か所		115か所	
慶弔返し	0円		0円	
計	53件	1,303,090円	33件	1,370,838円
物 品	(3件) 622,805円		不織布マスク7,500枚、手指消毒240	
			知多米200kg	
			次亜塩素酸水2,640ℓ	
			食糧支援用缶詰、レトルト食品等	
			反物・生地・ゴム等マスク作成資材	
寄附の実績	令和3年度		令和4年度	
窓 口	24件	1,012,164円	29件	784,476円
缶募金	6件	74,299円	10件	101,614円
設置個所数	115か所		115か所	
慶弔返し	1件	1,000,000円	0件	0円
計	30件	2,086,463円	39件	886,090円
物 品	車いす7台		知多米225kg	
	テント1張		おもちゃ、絵本	
	知多米225kg		東京オリンピックグッズ	
	食糧支援用缶詰、レトルト食品等		文具、乾電池、紙おむつ、タオル、軍手等	

(5) 収益事業

市及び郵便局からの許可のもと、自動販売機の設置、郵便切手等の販売。

自動販売機の設置	22台 内訳 聚楽園公園に6台 しあわせ村健康ふれあい交流館に8台 東海市民体育館に8台
郵便切手等	東海北郵便局との取引 切手、ハガキ、レターパック等

(6) 広報・情報発信

住民に社会福祉協議会の事業をしていただくことやイベント・講座等の案内貸出申請等を周知するため、紙媒体・ホームページ等・キャラクター等により広報を行う。

紙媒体	○広報紙「とうかいの福祉」発行・配布 市の広報と一緒に全戸配布した。 49,000部。年6回。1部8ページ 5/1・7/15・9/15・11/15・1/1・3/15 ○社会福祉協議会紹介冊子、パンフレット作成・配布 冊子650部、パンフレット3,000部 住民・各種機関との会議で配布、公共施設で周知
ホームページ等	○ホームページ アクセス回数 13,561回 毎週金曜日更新、随時更新 ○ツイッター(2012年8月開設) 令和4年度フォロワー数682人 随時更新 ○ブログ (2012年11月開設) 令和4年度フォロワー数32人 随時更新 ○Facebook (2020年7月開設) 令和4年度フォロワー数74人 随時更新 ○YouTube (2021年12月開設) チャンネル登録者数32人 ○Instagram (2022年11月開設) 令和4年度フォロワー数100人 随時更新
キャラクター	社会福祉協議会のキャラクター「ここなちゃん」を活用。 ○印刷物で使用 広報紙「とうかいの福祉」 各種事業案内、社協会員証、封筒 ○グッズ「ここなちゃんサコッシュ」を制作

【年度別数】 ホームページ（アクセス数） その他（フォロワー数）

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
ホームページ	12,873	19,186	16,316	13,561
ツイッター	————	————	640	682
ブログ	14	15	20	32
Facebook	————	————	————	74
YouTube	————	————	20	32
Instagram	————	————	————	100

(7) 理事会・評議員会・部会・評議員選任解任委員会

社会福祉法人に求められる組織の根幹の会議。

理事会 定数 ・理事 15人 ・監事 2人	<p>第1回 6月8日（水）出席 理事11人、監事2人 議案「令和3年度社会福祉法人東海市社会福祉協議会事業報告並びに収入支出決算について」始め9件</p> <p>第2回 12月9日（金）出席 理事13人、監事2人 議案「令和4年度社会福祉法人東海市社会福祉協議会資金収入支出補正予算（第2号）について」始め7件</p> <p>第3回 1月11日（水）出席 理事9人、監事2人 議案「社会福祉法人東海市社会福祉協議会副会長の選定について」</p> <p>第4回 3月7日（火）出席 理事13人、監事2人 議案「令和5年度社会福祉法人東海市社会福祉協議会事業計画並びに資金収入支出予算について」始め3件</p>
評議員会 定数 ・評議員 26人	<p>第1回 6月24日（金）出席 評議員20人、会長1人、監事2人 議案「令和3年度社会福祉法人東海市社会福祉協議会事業報告並びに収入支出決算について」始め5件</p> <p>第2回 12月19日（月）出席 評議員24人、会長1人、監事2人 議案「令和4年度社会福祉法人東海市社会福祉協議会資金収入支出補正予算（第2号）について」始め2件</p> <p>第3回 3月22日（水）出席 評議員25人、会長1人、監事2人 議案「令和5年度社会福祉法人東海市社会福祉協議会事業計画並びに資金収入支出予算について」始め2件</p>
評議員 選任解任 委員会 定数 ・委員 5人	<p>第1回 6月8日（火）出席 委員5人 議案「社会福祉法人東海市社会福祉協議会評議員の選任について」1件</p> <p>第2回 12月9日（金）出席 委員5人 議案「社会福祉法人東海市社会福祉協議会評議員の選任について」1件</p>

<p>専門部会</p> <p>定数</p> <p>41人</p>	<p>第1回9月30日(金)</p> <p>3部会共通テーマ</p> <p>「今後の地域福祉活動について」・・社協が担う役割について</p> <p>法人運営部会(出席者 8人)</p> <p>地域福祉活動推進部会(出席者 13人)</p> <p>福祉サービス利用支援部会(出席者 9人)</p>
<p>監事会</p>	<p>第1回5月26日(木)出席 監事2人</p> <p>議題「令和3年度事業報告・収入支出決算報告」1件</p>

2 地域づくり事業

(1) 地域支えあい事業

住民による仕組みとして活動している地域支えあい活動団体を支援する事業

ア 富木島ふれあいコミュニティ地区の6団体

東長口自治会、新藤塚町内会、手代ヶ丘町内会、清長自治会、新長口自治会、山田自治会の見守り・支えあい活動について、意見交換の場の運営、見守り現地支援を行った。

イ 三ツ池コミュニティ地区の3団体

東加木屋自治会、鎌吉良根自治会、新加木屋自治会の見守り活動について、意見交換の場の運営、見守り現地支援を行った。

ウ 加木屋南コミュニティ地区の4団体

大池自治会、加木屋南自治会、百合ヶ丘自治会、泡池自治会の見守り・支えあい活動について、意見交換の場の運営、見守り現地支援を行った。

エ 名和南脇町内会、洞ヶ山自治会、中央町町内会、高横須賀町の東脇町内会・南脇町内会の見守り活動について現地支援を行った。

オ 緑陽コミュニティ、渡内コミュニティ、富木島ふれあいコミュニティ、加木屋コミュニティについては、市が進める地域運営体制づくりに向けたモデル地区として将来像策定懇談会（緑陽コミュニティ除く）にも参加した。

(2) 地域つながり支援(生活支援コーディネーター事業)

市からの地域包括ケア推進計画に基づく受託事業で、介護保険や法的福祉サービス支援を利用していない方々に対して生活支援をつなげる地域づくり事業

市委託事業

受託内容	活 動
市全域を1層とし、コーディネーターを設置	2層だけでは対応できない課題への取り組みを行った。市や2層との打合せを実施した。
市を5地区に分け2層とし、コーディネーターを設置 5地区 名和 荒尾 富木島	日常生活圏域の地区において、多様な生活課題への支援及び高齢者等の社会参加の促進に取り組んだ。 意見交換の場 329回 支えあい活動団体との意見交換を定期的実施 住民と共同でのお散歩マップの作成 〈取り組み事業〉 ○住民間の困りごと支援事業「こころんサポートセ

加木屋 横須賀	<p>ンター事業」平成29年度からの継続事業 令和3年度より支援会員の登録を市内全域に拡大 有償ボランティア（基本対価）1時間500円</p> <p>○住民間の買い物支援事業「買い物バス」平成28 年度からの継続事業 無償 利用者等は住民で調整 車は社会福祉法人 の車両で運転手はボランティア 実施地区：8地区 実施回数：50回 延べ利用者数：292人</p> <p>○買い物支援の実施。自治会から買い物に困って いる方々がいるとの声があり、商店アイマルシェ の協力で移動販売を実施。</p> <p>○生活支援体制整備等協議会に参加 地域づくり部会の事務局として、年3回部会を開 催。</p>
------------	--

(3) つどいの場支援 茶論（ふれあいいいききサロン）

地域住民が主体となって運営している高齢者がいきいきと暮らすための地域の活動の場である茶論(サロン)を支援する事業

開催状況	34か所 月1～2回開催（延べ回数：384回）
参加者数	5,675人
プログラム	茶話会、ゲーム、体操、歌、手芸、講話会、誕生会等
終了会場	2会場
世話人交流会	5会場 70人

【年度別数】 延べ人数「ご近所子ども交流」含む

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
実施か所	34か所	38か所	38か所	36か所	34か所
延べ人数	7,606人	7,579人	1,730人	4,063人	5,675人

※令和2～3年度はコロナ感染症対応により開催調整

※令和2～3年度は「ご近所子ども交流」はコロナ感染症対応により中止

※令和4年度より「つどいの場支援」として登録制に変更

(4) つどいの場支援 ゴムバンド運動(筋力づくり推進)

高齢者の生活動作機能維持のため、ゴムバンドを使った運動を始めとする体を動かす住民の自主活動を支援する事業

開催状況	28か所 実施回数：1,148回 1回1時間程の運動
参加者数	15,972人

見直し訪問	27会場 中部大学作業療法学科と星城大学リハビリテーション学部の先生による指導
新規会場	1会場
終了会場	1会場
世話人交流会	5会場 70人

【年度別数】

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
実施か所	23か所	24か所	24か所	28か所	28か所
延べ人数	21,011人	19,112人	5,344人	13,125人	15,972人

※令和2～3年度はコロナ感染症対応により開催調整
 ※令和4年度より「つどいの場支援」として登録制に変更

(5) つどいの場（子ども） ※新規

子どもたちの健全な育成を図るため、地域において放課後や長期休暇中のつどいの場活動を推進する事業

開催状況	2か所（延べ回数：12回）
参加者数	20人
プログラム	ゲーム、調理実習、クリスマス会等
協力者	SSW(スクールソーシャルワーカー)、大学生、傾聴ボランティア

(6) 地域共生こころんサポートセンター(ご近所困り事支援)

高齢者や障がい者の日常生活の困り事と支援できる住民を繋ぐ事業。

仕組み	登録している支援を受けたい方からの申請で、登録している支援ができる方に連絡、現地での支援の実施。
対 価	支援できる方は有償ボランティアとして活動し、基本対価は1時間500円。当事者間で受け渡しを行う。
登録制	支援を受けたい方と面談し制度の仕組みを伝え登録(依頼会員)、支援ができる方は研修会に参加し登録(支援会員)。
実 績	依頼会員64人(29人増)、支援会員72人(23人増) 活動件数127件 活動エリア：市内全域 活動内容：草取り、掃除、ゴミ出し、家具組立、網戸張替等 支援会員交流会：参加者21人 <ぬいぬい隊> 裁縫を介した高齢者や障がい者の生きがいづくりと地域とのつながりづくりを支援。 依頼者から依頼のあった学用品など必要な物と、また必要とさ

	<p>れる物を作成。</p> <p>拠点活動 実施回数：14回 参加者数：96人 作成総数：745枚</p> <p>個人活動 活動者：4人 依頼件数：4件 活動件数：2件 ＜農援隊＞</p> <p>農業を通じて高齢者や認知症者、障がい者、ひきこもりの状態にある者等の社会参加を支援。</p> <p>活動：東海市農務課や農業委員会、ほっとプラザにおいて活動に向けた意見聴取。</p> <p>活動件数：1件</p>
--	---

【年度別数】

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
依頼会員	15人	22人	22人	45人	64人
支援会員	8人	22人	26人	49人	72人
依頼件数	42件	57件	20件	54件	120件
活動件数	35件	52件	19件	51件	127件

※平成30年度は富木島ふれあいコミュニティのみ実施（モデル地区）

※令和元年度に依頼会員は明倫コミュニティと船島コミュニティ追加（モデル地区）

※令和元年度に支援会員は市内全域として実施

※令和3年度より市内全域において実施

※令和2～3年度はコロナ感染症対応により活動調整

(7) 防災・災害救援

災害時に備え、令和4年3月に改訂したマニュアルに基づき、災害ボランティアセンターの設置・運営の訓練を実施。災害時要配慮者及び女性支援マニュアルに基づく講話や訓練も実施した。

災害ボランティアセンターの設置・運営訓練	<p>＜本部訓練＞</p> <p>8月27日 しあわせ村 参加者121人 釜石市社協、山田町社協、米沢市社協の講義とグループワーク</p> <p>＜支部訓練＞</p> <p>9月10日 加木屋南小学校 参加者49人 雨天により体育館において訓練を実施</p>
災害時要配慮者支援を含めた防災訓練・講話	<p>35回実施 参加者3,237人</p> <p>小学校 2回（うち2回HUG） 中学校 13回（うち4回HUG） 高校 2回 大学 1回（HUG）</p>

	企 業 6回（うち1回HUG） 一 般 11回 ※HUG…避難所運営ゲーム
マニュアルの整備	災害ボランティアセンター設置・運営マニュアル 災害時要配慮者支援マニュアル 災害時女性支援マニュアル

【年度別数】

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
VC本部訓練	162人	147人	28人	193人	121人
VC支部訓練	26人	52人	中止	中止	49人
活動回数	10回	13回	7回	15回	35回
参加者数			669人	2,145人	3,237人

※令和2～3年度はコロナ感染症対応により支部訓練中止

(8) 地域交流推進（災害時相互応援及び交流協定締結団体との事業）

災害時相互応援及び地域交流に関する協定を締結している岩手県釜石市社会福祉協議会、山田町社会福祉協議会、山形県米沢市社会福祉協議会及び東海青年会議所、東海市商工会議所青年部を招き、各機関との応援体制・地域交流及び市民の防災・地域交流意識の醸成を図る。

地域交流事業	8月26日に予定していたが中止
シンポジウム	市民を含む災害応援協定先とのシンポジウムを予定していたが、感染症対応として中止。 災害ボランティアセンターの設置・運営訓練において講義を実施

【年度別数】

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
一般/中学生	15人/20人	17人	510人	中止	中止

※令和元年度まで東日本大震災復興支援活動として実施

※令和2年度は東日本大震災から10年として追悼式を実施

※令和3～4年度はコロナ感染症対応により中止

(9) 軽トラック貸出

町内会・自治会や福祉団体等の地域活動の支援事業

貸出	実績件数 16件（ガソリンは満タン貸し満タン返し） 貸出料 無料
----	-------------------------------------

【年度別数】

	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
貸出件数	40 件	22 件	9 件	9 件	16 件

※令和 2～3 年度はコロナ感染症対応により地域活動が減少

(10) 福祉団体支援

福祉団体の活動費の助成、事務局機能の実施、活動のための部屋貸し等の支援。

助成金の交付	<p>交付団体 14 団体、交付額 総額 970,000 円</p> <p>団体名 身障会、手をつなぐ育成会、肢体不自由児父母の会 身障者の妻と介護者の会、 保育事業協会、子ども会連絡協議会、遺族会 民生委員協議会、保護司会、更生保護女性会 更生保護雇用主会、人権擁護委員会、 日赤奉仕団、献血推進協議会</p> <p>感染症対応のため、団体の活動が中止等により活動費が 残余している状況を聞き取り、助成金を減額した。</p>
事務局機能の実施	<p>5 団体</p> <p>団体名 子ども会連絡協議会、民生委員協議会の部会事務、 保護司会、更生保護女性会、シニアクラブ連合会</p>
活動のための部屋 とロッカー貸出	<p>しあわせ村保健福祉センター 1 階の福祉団体活動室とそ の部屋にあるロッカーを貸出</p> <p>感染症対応として、使用後の除菌作業を継続。</p>

(11) 社会福祉大会

福祉活動に功績のあった団体・個人への表彰、ボランティア・福祉体験に係
る作文・ふれあいフォトコンクール及び赤い羽根児童生徒作品コンクール(書
道、ポスター)の優秀作品の表彰等を行う。

開催状況	<p>第 36 回東海市社会福祉大会</p> <p>実施日 令和 5 年 2 月 18 日 (土)</p> <p>場 所 東海市立勤労センター 多目的ホール</p> <p>顕彰者</p> <p>表彰状 6 人</p> <p>感謝状 14 人、9 町内会・自治会、5 個人</p> <p>高齢者福祉功労賞 26 人</p> <p>ボランティア・福祉体験作文優秀賞 4 人</p> <p>ふれあいフォトコンクール優秀賞 6 人</p> <p>赤い羽根児童生徒優秀作品(県共募入賞) 書道 7 人</p> <p>赤い羽根児童生徒優秀作品(県共募入賞) ポスター 7 人</p>
------	---

(12) 社会を明るくする運動

社会を明るくする運動は、法務省が主唱しているもので、犯罪や非行の防止と犯罪や非行をした人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない安全で安心な明るい地域社会を築くための全国的な運動。

開催状況	<ul style="list-style-type: none">○一斉街頭啓発 実施日：7月2日 実施場所：市内スーパー等6か所 協力者：保護司会、更生保護女性会、個性保護雇用主会 民生・児童委員連絡協議会○中学生との対話集会（生徒と保護司による対話集会） 1月27日 名和中学校 1月31日 平洲中学校 3月10日 横須賀中学校○横断幕の設置 市内3か所に設置○児童・生徒の作品展示（東海市芸術劇場へ展示） 小学生の部 応募者数211人 展示者61人 中学生の部 応募者数40人 展示者22人
------	--

3 福祉教育の推進事業

(1) 小学校、中学校、高校、大学で福祉教育講座開催

高齢者や障がい者等の生活状況を知っていただき、人を思いやる心を養い、ともに生きることについて考え、福祉に関心をもっていただく講座を開催。

開催状況	小学校 12校中12校で開催 中学校 6校中6校で開催 ほっと東海(不登校教室) 高校 4校中3校で開催(横須賀高校定時制含む) 大学 1大学で開催 計 23か所で104回開催	協力者 367人 協力者 94人 協力者 1人 協力者 36人 協力者 15人 協力者 513人
講座内容	「ガイダンス」「体験」「まとめ」をセットとして提案 障がいのある方(車いす生活・視覚障がい・聴覚障がい)の講話 東日本大震災の被災者の講話 認知症に関する講話 自閉スペクトラム症に関する講話 性的マイノリティに関する講話 福祉・ボランティアに関するガイダンス 車いす、点字、手話、HUG(避難所運営ゲーム)等の体験	
協力者	当事者、ボランティア、民生・児童委員、介護従事者 延べ協力者数 378人	

【年度別数】

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
実施か所	22か所	22か所	18か所	20か所	23か所
実施回数	92回	82回	55回	79回	104回
協力者数	585人	499人	206人	378人	513人

※令和2～3年度はコロナ感染症対応により活動調整

※学校によって総合学習の時間で継続的に実施

(2) ボランティア・福祉体験作文・ふれあいフォトコンクール

ボランティア体験・福祉体験作文やふれあいフォトコンクールで感じたこと、思ったことを通して、ボランティアや福祉活動の浸透を図る事業

作文	応募件数8編 学校を通じての応募ではなく、一般応募としたため件数が減少したもの
フォト	応募件数18作品

【年度別数】

	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
作文	844 作品	572 作品	25 作品	180 作品	8 作品
フォト	29 編	59 編	42 編	29 作品	18 作品

※令和 2 年度はコロナ感染症対応により活動調整

※令和 2 年度まで川柳を募集

※令和 4 年度より学校での作文の募集・取りまとめが中止

4 ボランティア活動の推進事業（ボランティアセンター事業）

(1) ボランティア相談

ボランティア活動に関心のある方、ボランティアを求めている方に対してボランティア実践者や社協職員による相談

相談窓口	特設窓口 場所 しあわせ村健康ふれあい交流館エントランス 時 毎週 火曜日、木曜日 土曜日 10時～12時 ※第1・3・5土曜日は13時～15時 相談員 ボランティア実践者8人の当番制 受付実績 82件 内訳 支援要請34件 活動希望33件 情報提供 9件 その他 6件 社協事務室 月～金曜日 8時30分～17時15分 社協職員が対応 相談員連絡会 毎月1回実施 相談員研修会 9月、1月実施
------	--

【年度別数】

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
相談件数	109件	109件	42件	68件	82件

※令和2～3年度はコロナ感染症対応により活動調整

(2) ボランティア情報発信

ボランティア情報を広報「とうかいの福祉」、社協のホームページ、掲示板、ポスター、メールで発信。

広報「とうかいの福祉」	年6回発行の広報で市内全戸に情報発信。 5/1、7/15、9/15、11/15、1/1、3/15発行 11月の市の広報の時に「ボランティア広報誌こころん」(A3裏表)を一緒に全戸配布。
ホームページ	随時更新
掲示板	市内47か所 毎月1日「ボランティア情報」を掲示
ポスター	市内35か所に掲示 年4回(6月、9月、12月、1月)
メール	ボランティア登録している団体、個人に随時配信
YouTube	2回(交流会、災害ボランティアセンター設置・運営訓練)
インスタグラム ※新規	相談員窓口時に投稿 13回

(3) ボランティア養成

ボランティアとして活動できるよう講座を開催。

<p>「これからボランティア」 ※市との共催事業</p>	<p>定年後等の高齢者のいきがいくりのキッカケとして開催。昨年度は感染症対応として、社協単独で実施。 7月からスタートし10月まで、基礎講座2回、10の専門講座を開催。 受講者 24人</p>
<p>傾聴ボランティア養成事業 ※市からの委託事業</p>	<p>自殺予防対策事業として、傾聴力のある人材の養成 受講状況 1～2月に全5回の講座を開催。 受講者31人、延べ114人 協力 傾聴ボランティアサークルおひさま 事業終了後、傾聴ボランティア活動に参加。</p>
<p>手話奉仕員養成講座 ※市からの委託事業</p>	<p>聴こえない方の言語である手話に触れていただきコミュニケーションができる人材の養成 受講状況 全43回で入門課程と基礎課程の講座を開催。 受講者20人 講師 知多地区聴覚障害者支援センター2人</p>
<p>託児ボランティア養成</p>	<p>子育て中のお母さんによりそいながら支援するボランティアの養成 ○託児ボランティア連絡会 実施日 毎月第4月曜日 受講者19人 ○託児ボランティア活動 内容 ファミリーサポート説明会託児 5人 公園&ランチマップ作り託児 4人 子育てさろんエンジェル 25人</p>

(4) ボランティアゼミ

学生や働いている方にボランティア体験をする機会を提供する

対 象	開催状況
小学生	<p>「かえっこバザール」を開催。 実施日 10月29日 12時～15時 しあわせ村 参加者140人 協力者34人 11月13日 10時～14時 渡内小学校 参加者70人 協力者4人 内容 使わなくなったおもちゃにポイントを付けて、</p>

	そのポイントで他のおもちゃと交換する。
中学生	地域や民生・児童委員の役割を学ぶことを目的に開催。 実施日 10月 1日 10時～12時30分 アスカム 参加者8人 協力者6人 11月19日 10時～12時30分 平島公民館 参加者12人 協力者6人 内容 ボランティアの基本 車いす体験
高校生	東海樟風高校のボランティア部の生徒を対象に、地域の防災活動について意見交換を開催。 実施日 3月6日 16時～17時 東海樟風高校 参加者26人 協力者4人 内容 ボランティアの基本 地域の中でできることを伝え、自分にできることに気づき、考え、行動することを学ぶ。
夏休みボランティア体験（一般、大学、高校生、中学生）	夏休みボランティア体験 実施日 7月～8月（26回） 内容 手話、おもちゃ図書館、音訳、点字、自助具、駅前清掃、施設体験等 参加者 延べ217人 協力者 延べ217人
出前講座	市内企業の新入社員向けのボランティア講話を実施。 実施日 4月1日、11日、5月17日、31日 6月16日、1月20日、2月13日 場所 豊田スチールセンター(株)、愛知製鋼技術学園、テツゲン(株)、東海プラントエンジニアリング(株)、日本製鉄(株)、東レ東海工場(株)、大同特殊鋼(株)知多工場 内容 福祉、ボランティア、防災について 参加者 延べ139人 ※公立西知多総合病院での病院ボランティア講座は感染症対応として中止。
	市民、親子向けのボランティア講話、体験を実施。 実施日 6月15日、7月22日、10月23日 2月17日、21日、22日 場所 芸術劇場、しあわせ村、緑陽小学校 内容 ボランティア講話、車いす体験、高齢者疑似体験、防災体験 参加者 延べ129人
やろまいデー	すぐできる、その場でできるボランティア活動の提供。

※新規	実施日 11月21日～12月16日 内容 収集活動、食品仕分け、ぬいぬい隊、おもちゃ図書館、デイサービス等 参加者 延べ26人
-----	---

(5) ボランティア交流

ボランティア活動をしている方々の交流の場を設けて、活動の広がり、モチベーションの継続を図る。

交流会の開催	① 実施日	5月28日	13時～15時
	内容	ゆるスポーツ、リモートクイズ	
	参加者	34人	協力者 20人
	② 実施日	12月4日	10時～12時30分
	内容	ごみスポと焼きいも大会	
	参加者	40人	協力者 34人
	③ 実施日	1月30日	13時30分～15時
	内容	登録説明会、活動紹介	
	参加者	34人	協力者1人

【年度別数】

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
実施回数	2回	2回	3回	中止	3回
延べ人数	181人	150人	91人	中止	108人

※令和3年度はコロナ感染症対応により中止

(6) ボランティア団体への貸館

ボランティア団体・福祉団体の活動支援として、しあわせ村健康福祉センター1階のボランティアルーム、福祉団体活動室、録音室、おもちゃ図書館、相談室、印刷室を貸す事業

団体数	貸館利用のため登録している団体数105団体				
	内訳	ボランティア団体	90団体		
		福祉団体	15団体		
実績	貸館件数	1,524件	※参考	3年度	1,460件
	利用延べ人数	16,024人	※参考	3年度	13,428件

(7) ボランティアセンター運営

第4次ボランティア・市民活動推進計画の進捗状況の評価、課題の意見交換から企画・立案について協議し、ボランティアセンターの運営を行う。

ボランティアの登録	登録は、年度毎更新 登録実績 団体 90団体 1,492人 個人 53人
ボランティア活動保険 加入促進	加入実績 939人
多機関との連携	市民活動センターや生涯学習ボランティアバンク との随時情報交換、講座開催調整。
ボランティア運営委員会	第4次ボランティア・市民活動推進計画に係る協 議機関 開催状況 年6回開催(偶数月) 委員人数 15人 構成 日本福祉大学の先生、星城大学の先生 民生・児童委員 3人 企業 4人 学校 1人 介護事業所 1人 市民活動者 1人 ボランティア実践者 2人 市役所 1人

【年度別数】ボランティアセンター登録

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
団体/人数	95/1,987	96/1988	89/1,981	89/1,511	90/1,492
個人	95人	83人	71人	58人	53人
施設	40か所	41か所	41か所	41か所	41か所
保険加入	1,215人	1,180人	986人	963人	939人

5 子ども、障がい者、高齢者等支援事業

(1) おもちゃ図書館

障がいのある子もいない子も一緒に遊ぶことのできる場の提供及びおもちゃの貸出や修理。

開設日	毎週木曜日 10時～11時30分 第2・4土曜日 10時～11時30分
場 所	しあわせ村保健福祉センター3階
参加人数等	1,926人（スタッフ・社協職員含む） 開館72回
開設状況	○感染症対応 時間制限 2部制 10時～10時40分 10時50分～11時30分 ※人数制限 各7組まで ○つみきの日、カプラの日は感染症対応として中止 ○リトミック 毎月第1木曜日実施 ○おもちゃのお医者さん 毎週木曜日、第2・4土曜日実施
管理・運営	ボランティアグループ「おもちゃ図書館あひる」へ依頼

【年度別数】

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
実施回数	73回	65回	58回	60回	72回
延べ人数	3,689人	3,155人	973人	949人	1,926人

※令和2～3年度はコロナ感染症対応により回数・人数制限を実施

※令和3年度はコロナ感染症対応により人数制限を実施

(2) ご近所子ども交流

夏休み期間に子どもと地域の高齢者、ボランティアが交流をする場を設け、子どもの居場所として開催。

開催状況	8回 ※茶論実施会場
参加者数	155人
プログラム	ゲーム、昔遊び
協力者	つどいの場世話人、支えあい活動団体、子ども会、小学校

【年度別数】

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
実施回数	14回	16回	中止	中止	8回
延べ人数	265人	259人	中止	中止	155人

※令和2～3年度はコロナ感染症対応により中止

(3) キャンプ用品等貸出

キャンプ用品等の貸出により子ども主体のイベント開催を支援。

貸出実績	キャンプ用品	0件	※参考	3年度	0件
	餅つきセット	3件	※参考	3年度	0件

(4) わくわく! 科学実験教室

小学校の放課後子ども教室で、ボランティアが科学の楽しさを子どもに伝える教室。

開催状況	月1回 土曜日の9時30分から12時まで 12小学校のうち12小学校で開催 ものづくり道場でブース設置 参加者 延べ145人 内容 クリップモーター、ダイビングフィッシュ等
協力者	わくわく!科学実験教室サポーター 延べ77人

(5) 精神障がい者サロン(名称:おいじゃん)

精神障がい者の居場所づくり。

開催状況	月1回開催 12回開催 参加者 延べ93人 プログラム お花見、スクラッチアート、ポーリング みかん狩り、干支づくり、お茶会 等
協力者	ボランティアグループみちくさ

【年度別数】

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
実施回数	12回	11回	7回	11回	12回
延べ人数	83人	86人	58人	77人	93人

※令和2～3年度はコロナ感染症対応により開催調整

(6) 配食サービス(高齢者、障がい者)

調理が困難な高齢者や障がい者等に食事を提供し、健康の維持増進を図るとともに、訪問することで利用者の安否確認・状況確認を行う。 市委託事業

利用状況	市で利用決定された方が対象 高齢者 337人 80,921食 (1日 224食程) 障がい者 8人 1,847食 (1日 6食程)
------	---

	利用者負担1食480円 低所得者は300円 配食日は1月1日～3日を除く毎日
弁当の選択	5業者から利用者が選択 弁当の献立は利用の前月に管理栄養士が栄養価を確認した
利用者の状況 確認	配食業者から市又は社協に報告があり、状況により、市・社協・ケアマネジャー等と調整連絡を行った。 安否確認ができなかったケースはいなかった。

【年度別数】

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
高齢者	58,517食	64,377食	72,276食	71,173食	80,921食
障がい者	4,354食	3,744食	2,541食	1,819食	1,847食

(7) 声の広報作成

視覚障がい者に市の広報紙の情報が伝わるよう音声データを作成し配布。

市委託事業

利用状況	利用者 視覚障がい者15人 年21回発行される市の広報の音声データ(CD)をボランティアグループが利用者へ配布。
協力者	ボランティアグループ「声のたより&Bookフレンド」14人

(8) 買物バス(買物支援)

障がい者や高齢者の買物支援及び外出支援。

利用状況	50回実施 参加者292人 実施地区 8地区 一番畑、下名和、名和東、名和団地 東加木屋、鎌吉良根、百合ヶ丘、加木屋南 実施時間 11時～14時 買物先 アピタ東海荒尾店、バロー加木屋店、カーマ東海店
協力者	ボランティア(運転手)10人 社会福祉法人(車両の提供) さつき福社会、レモンの樹東海、東海福寿園の3法人と調整 ボランティア交流会 10月27日 参加者10人

【年度別数】

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
実施か所	7地区	8地区	7地区	7地区	8地区
実施回数	51回	48回	19回	39回	50回

延べ人数	291人	309人	125人	226人	292人
------	------	------	------	------	------

※令和2～3年度はコロナ感染症対応により開催調整
 ※令和2年度からコロナ感染症対応により名和団地は中止

(9) 聴かせてねっと(高齢者訪問傾聴事業)

ひとり暮らし高齢者を訪問し話を聴く事業。家に閉じこもりがちな方や人と会う機会の少ない方等の孤独感に対応し心のケアを行う。

利用状況	高齢者19人が登録 依頼件数 81件、訪問件数 72件 感染症対応のため8月、9月中止
協力者	傾聴ボランティアサークルおひさま 34人

【年度別数】

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
対象者数	18人	22人	13人	21人	19人
依頼件数	127件	158件	80件	61件	81件
訪問件数	114件	138件	71件	57件	72件

※令和2～4年度はコロナ感染症対応により活動調整

(10) 移送サービス

車いす利用等の障がい者の通所や通学、通園、高齢者の通院やワクチン接種会場等までの移送。

利用状況	利用件数 通所・通院 598件、通学・通園 321件 利用料 無料 車両 車いすのまま乗車できる車両 3台
協力者	ボランティア10人 運転講習会 1月11日、18日 参加者9人 ボランティア連絡会 2月22日 参加者8人

【年度別数】

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
通所・通院	1,108件	755件	83件	161件	598件
通学・通園	—	—	—	88件	321件

※令和2年度はコロナ感染症対応により活動調整
 ※令和3年度より通学、通園を追加

(11) 福祉車両・車いす貸出

福祉車両は、車いすで乗車できる車両で、車いす利用の障がい者や高齢者の外出支援として貸し出すもの、車いすの貸し出しは、通院や入退院、介護保険

制度で車いす利用ができるまでの間や高齢者等の旅行等に貸し出す外出支援。

福祉車両	利用状況 利用者 13人 33件利用 利用料 無料(ガソリン満タン貸出満タン返し)
車いす	利用状況 199件 利用料 無料

【年度別数】

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
福祉車両	10人/32件	15人/36件	6人/10件	12人/26件	13人/33件
車いす	174件	180件	115件	170件	199件

(12) 福祉機器リサイクル

シルバーカーや介護仕様のベッド等を、譲りたい方と譲って欲しい方へつなぐ。

利用状況	譲りたい方 15人 譲ってほしい方 17人 繋げた件数 14件 物件 シルバーカー、各種杖、介護仕様のベッド
------	--

【年度別数】

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
譲渡希望者	13人	12人	11人	19人	15人
譲受希望者	20人	13人	16人	20人	17人
成立数	9件	11件	16件	20件	14件

(13) 高齢者世話付住宅生活援助員派遣

愛知県が設けている高齢者世話付住宅に居住する高齢者を対象に、生活援助員を派遣し、安否確認、生活上の相談及び関係機関への連絡等の生活支援を行う。

市委託事業

対象者	県営上野住宅に居住の11世帯13人 県営清水住宅に居住の21世帯24人 計 32世帯37人
派遣状況	生活援助員 各住宅1人 月曜日～金曜日の9時～正午(土・日、年末年始は派遣しない) 援助員は県営住宅に設けられている相談室に常駐。
事業内容	○安否確認件数 上野住宅1,734件 清水住宅3,352件 例 ・外出する姿を見かけた ・対象者が相談室を訪れた ・訪問した

	<ul style="list-style-type: none"> ・隣近所の方から聞き取りをした <p>○相談件数 上野住宅3件 清水住宅2件</p> <p>例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・将来への不安の相談 ・防犯上の不安の相談 ・体調管理について話をした <p>○緊急時の対応 上野住宅0件 清水住宅3件</p> <p>例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緊急搬送の連絡 ・警報が鳴った時の対応 <p>○関係機関への連絡件数 上野住宅10件 清水住宅46件</p> <p>例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・騒音被害の話は自治会長へ繋いだ ・介護の話は高齢者相談支援センターへ繋いだ <p>○一時的な家事支援等 上野住宅20件 清水住宅16件</p> <p>例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゴミ出しの手伝い
--	--

(14) ダイヤモンド婚者・金婚者を祝う会開催事業

結婚60年、結婚50年のご夫妻を招いてお祝いする会を3年ぶりに開催したが、コロナ感染予防のためか金婚者の申込が減少した。

また、金婚者の式典当日の参加者も減少した。

市委託事業

開催状況	<p>実施日 令和4年11月16日(木)</p> <p>場 所 東海市民体育館 メインアリーナ</p> <p>参加者</p> <p>ダイヤモンド婚者：85組(内、出席者 53組100人)</p> <p>金 婚 者 : 135組(内、出席者 54組105人)</p>
------	--

【年度別数】

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
ダイヤモンド婚	60組	51組	74組	87組	85組
金 婚	102組	86組	217組	178組	135組

※令和2年度・3年度はコロナ感染症対応により式典開催中止

6 相談事業

(1) 高齢者相談支援センター運営（市委託事業）

介護保険法に基づく地域包括支援センター運営。

相談体制	2か所の拠点で実施 しあわせ村 荒尾町西廻間2-1 加木屋デイサービスセンター内 加木屋町南鹿持27-1
相談状況	相談件数 17,680件
事例検討会	第1回 6月17日 参加者40人 第2回 11月25日 参加者38人 第3回 1月20日 参加者33人
地域ケア会議	26回開催（個別：8回、自立支援：18回） ケースの問題解決、支援のネットワーク構築や地域課題について検討し、地域課題を抽出・解決に向け開催した。
出前講座	27回開催 内容 認知症理解、介護保険制度周知、介護方法等 対象 町内会・自治会、シニアクラブ、ふれあいサロン等
介護教室	1月に1回開催 初心者のための介護教室
介護予防支援	要支援1、2の方及び基本チェックリスト該当者に対し、ケアプランを作成した。 プラン作成数 介護保険5,352件、総合事業3,281件
地域づくりへの取り組み	支援が必要な高齢者を早期に相談に結びつけるため、5地区の民生・児童委員と情報交換（3地区書面）をした。 地域支えあい団体の話し合いに参加するなど地域活動との連携を図った。
地域包括ケアシステムの推進	医療と介護の連携、生活支援との連携、障がいのある方を含めた複合課題への取り組みを進め、市の地域包括ケアシステム推進計画の推進に取り組んだ。

【年度別数】

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
相談件数	16,693件	16,188件	17,911件	16,838件	17,680件
介護保険プラン (委託件数)	4,580件 (4,321件)	4,886件 (4,543件)	5,089件 (4,755件)	5,226件 (4,741件)	5,352件 (4,858件)
総合事業プラン (委託件数)	4,202件 (3,654件)	4,324件 (3,833件)	3,814件 (3,394件)	3,584件 (2,299件)	3,281件 (2,659件)

(2) 認知症相談 (市委託事業)

認知症のある方が、意思を尊重され住み慣れた地域で暮らし続けるための支援

<p>認知症初期集中支援</p>	<p>認知症が疑われる方、認知症と診断された方を対象に6か月間、医師を含めた支援チームが集中的に支援を行う。</p> <p>支援件数 21件 うち新規14件</p> <p>チーム員会議 月1回</p> <p>チーム員 医師、ケアマネジャー、介護事業所、認知症認定看護師、高齢者相談支援センター職員</p> <p>○年2回開催の市認知症初期集中支援チーム検討委員会へ参加</p> <p>○認知症地域支援推進員との連携会議に参加し、認知症の方への資源等の情報提供や支援対象者の家族に対し、カフェやプログラムを紹介。</p>
<p>認知症総合支援 (認知症地域支援・ケア向上、サポーター活動・地域づくり)</p>	<p>○認知症サポーター養成講座、出前講座開催 22回開催 参加者 延べ593人 講座開催場所 学校、企業、団体等</p> <p>○地域包括ケアシステム認知症部会の運営 3回実施 啓発方法、移動や就労における支援について検討</p> <p>○オレンジカフェの開催 アピタ荒尾店 毎月1回 12回開催 参加者 延べ187人 協力者 延べ138人 生協のんびり村 8回開催 参加者 延べ 94人</p> <p>○つどいの場「みかんの花」の開催 月1回 参加者延べ125人 協力者延べ152人</p> <p>○地域で支えあう認知症ボランティア塾の開催 全3回 参加者 延べ30人</p> <p>○認知症サポーターフォローアップ講座開催 全3回 参加者 延べ48人</p> <p>○認知症スクリーニング・相談会 6か所で実施 参加者 延べ69人</p> <p>○チームオレンジ定例会 地域サポーター12回 延べ151人 企業サポーター12回 延べ 62人</p>

(3) 困窮者支援(貸付、給付、食糧支援)

コロナ禍を始め経済的に困窮している方への貸付での生活支援を行う。また、貸付を手続きされた方で希望者に食糧の交付を行う。

県社協の貸付事業	<p>「生活福祉資金」利用状況</p> <p>相談件数 527件</p> <p>従来の生活福祉資金 1件 (緊急小口 不承認)</p> <p>教育支援資金 4件</p> <p>コロナ対応の特例貸付 緊急小口資金(20万円上限) 71件</p> <p>コロナ対応の特例貸付 総合支援資金(20万円×3か月分) 37件</p> <p>※コロナ特例貸付は9月末で終了</p>
市社協の貸付事業	<p>「生活応急貸付金」(10万円上限) 26件</p> <p>生活保護を申請し決定までの生活費がない方等への貸付(生活保護申請から決定まで2週間かかるもの)</p> <p>貸付調査委員会の開催 2回開催</p>
給付事業	<p>電車賃がない方への扶助 一律500円 扶助件数0件</p>
食糧支援 (ここなパントリー)	<p>ここなパントリー</p> <p>感染症の影響により収入減となり生活福祉資金の貸付を申請した方や、ひとり親や子育て世帯で希望される世帯への食糧支援。</p> <p>配布実績 延べ86世帯 191回</p> <p>※コロナ特例貸付は9月末で終了</p> <p>食糧寄附 2,304kg (しあわせ村) 896kg (公共施設) 107kg (地域イベント)</p> <p>フードドライブ</p> <p>フードロス等を考える機会として、住民の近くである市民館、公民館等で生活相談窓口も兼ねて実施。</p> <p>相談者 60人</p> <p>参加人数 延べ1,534人 協力者 202人</p>

【年度別数】貸付

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
相談件数	55件	72件	1,636件	1,547件	527件
※1	27件	43件	38件	39件	26件
※2	1件	1件	3件	3件	5件
※3	—	4件	345件	196件	71件
※4	—	—	93件	256件	37件

※1 生活応急資金貸付件数

※2 生活福祉資金貸付件数

※3 コロナ特例貸付緊急小口件数

※4 コロナ特例貸付総合支援件数

※令和4年9月末でコロナ特例貸付終了

【年度別数】 ここなパントリー

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
配布世帯	—	—	101世帯	670世帯	86世帯
延べ回数	—	—	130回	679回	191回
食糧寄附	—	—	測量なし	10,513 kg	3,307 kg

※令和2年12月より事業開始

※令和4年9月末でコロナ特例貸付終了

(4) 総合的な権利擁護(日常生活自立支援事業)

判断能力が不十分な認知症の方、知的障がいのある方、精神障がいのある方等の権利が守られるよう日常生活の支援を行う。

利用状況	利用者 26人 (うち新規17人) 契約終了4人 内訳 高齢者 13人 令和3年度9人 知的障がい 5人 令和3年度1人 精神障がい 8人 令和3年度3人
内容	日常的金銭管理、書類預かり、関係機関との連絡調整等 専門員と生活支援員で対応
利用料	有料 例 訪問1回1,200円 生活保護世帯は月250円

【年度別数】

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
利用人数	14人 (新規3人)	12人 (新規2人)	14人 (新規2人)	13人 (新規3人)	26人 (新規17人)

(5) ふくしの相談窓口(地域福祉サービスセンター事業)

「どこに相談したらいいかわからない」などの総合相談窓口

相談件数	相談件数 2,266件 内容 医療のこと 1件 介護のこと 7件 生活のこと 26件 金銭管理のこと 1,480件 その他 757件 ※重複あり
他機関連携	地域包括ケアシステムの生活支援体制整備等協議会 精神保健福祉サポート会議 成年後見利用促進会議 認知症買物セーフティネット実行委員会 東海市障害者自立支援協議会 各機関の事例検討会

【年度別数】貸付

	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
訪問件数 (うち不在)	649 件 (198 件)	612 件 (167 件)	667 件 (223 件)	638 件 (148 件)	1,316 件 (280 件)
電話件数	113 件	133 件	121 件	276 件	988 件
面談件数	71 件	78 件	67 件	182 件	242 件

(6) ひきこもり支援(ほっとプラザ)

ひきこもりの方と家族、不登校の方と家族等との相談や居場所の提供支援。
令和 2 年度までは、市補助事業として実施、令和 3 年度からは市委託事業として、
特定非営利活動法人オレンジの会との共同・連携事業として実施。

相談	相談実人数 152人 相談延べ件数 671件 相談日 毎週火曜日～土曜日 場所 ほっとプラザ(尾張横須賀駅前の「まなぶん」2階)
常設居場所	利用実人数 88人 利用延べ人数 2,436人
家族会	月1回開催 4、8、12、1、3月は中止 内容 大学の先生との交流会 ひきこもり支援実践者による相談会や学習会 自分史研究会、社会的孤立と住まいの問題を考える
就労支援	就労準備・体験プログラム プログラム内容：職場見学、就労カウンセリング同行、就労体験、内職等 参加実人数15人 参加延べ人数854人
学習支援	生活習慣から勉強に至るまでのサポート 参加実人数12人 参加延べ人数357人
講演会	① 自分の人生をとりもどすためのサバイブ 実施日 1月28日 1時30分～16時 講師 高知県ひきこもりピアサポートセンター 下田つきゆび氏、楠永洋介氏 参加者数 28人 ② 地域に広がりをもつ「子ども・若者の居場所」 実施日 3月25日 1時30分～16時 講師 NPO 法人とまと食堂 深谷美子氏 ほっとプラザ職員 参加者数 28人

【年度別数】

	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
相談実人数 (延べ人数)	67 人 (419 件)	76 人 (415 件)	69 人 (317 件)	71 人 (384 件)	152 人 (671 件)
居場所実人数 (延べ人数)	67 人 (1,090 人)	66 人 (876 人)	54 人 (732 人)	89 人 (1,358 人)	88 人 (2,436 人)

7 福祉サービス事業

(1) 居宅介護支援事業(ケアマネ事業)

利用者や家族に対し介護保険法令の趣旨に沿って、居宅サービス計画を作成するとともに、指定居宅サービス等の提供が確保されるようサービス事業者との連絡調整その他の便宜を図る。

提供体制	2か所の拠点で実施 しあわせ村 荒尾町西廻間2-1 加木屋デイサービスセンター内 加木屋町南鹿持27-1		
実績	しあわせ村	加木屋	計
介護ケアプラン作成件数	1,914件	1,290件	3,204件
予防ケアプラン作成件数	436件	368件	804件
訪問調査件数	76件	97件	173件

【年度別数】 しあわせ村 (ケアプラン作成件数)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
介護	1,495件	1,790件	1,928件	1,820件	1,914件
予防	575件	574件	481件	474件	436件
計	2,070件	2,364件	2,409件	2,294件	2,350件

【年度別数】 加木屋 (ケアプラン作成件数)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
介護	1,788件	1,892件	1,759件	1,654件	1,290件
予防	690件	678件	624件	532件	368件
計	2,478件	2,570件	2,383件	2,186件	1,658件

(2) 訪問介護事業(ヘルパー事業)、障害福祉サービス事業

要介護状態または要支援状態にある高齢者、障がい者に対し、身体介護、生活援助等のサービス提供をする。

利用状況	○居宅介護 高齢者 46人、延べ5,467回利用 障がい者36人、延べ2,491回利用
------	---

【年度別数】 高齢者サービス提供回数

平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
6,743回	7,197回	6,511回	5,701回	5,467回

【年度別数】障がい者サービス提供回数

平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
4,908 回	3,982 回	3,571 回	3,188 回	2,491 回

(3) 通所介護事業(デイサービス事業)

利用者に送迎、入浴、食事の提供、個別機能訓練、レクリエーションを提供する。

市からの指定管理事業

提供体制	2 か所で実施 しあわせ村 荒尾町西廻間 2-1 加木屋デイサービスセンター内 加木屋町南鹿持 27-1			
見 功	しあわせ村	加木屋	計	
延べ利用者数	7,929 人	6,187 人	14,116 人	
1 日利用平均	25.9 人	20.2 人	23.05 人	

【年度別数】延べ利用者数

	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
しあわせ村	7,521 人	6,645 人	7,407 人	8,008 人	7,929 人
加 木 屋	8,947 人	8,757 人	7,278 人	7,171 人	6,187 人
計	16,468 人	15,402 人	14,685 人	15,179 人	14,116 人

※コロナ感染対策として、令和 2 年 3 月の 1 ヶ月間を事業縮小したため利用者が減少。

(4) 障害者地域デイサービス事業

身体障がい者に対して入浴、食事の提供、創作活動、機能訓練、介護方法の指導、社会適応訓練、レクリエーション等を提供する。

提供体制	しあわせ村デイサービスセンターで提供			
実 績	延べ利用者数	526 人		
	1 日利用平均	2.1 人		

【年度別数】延べ利用者数

平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
475 人	403 人	459 人	421 人	526 人

※コロナ感染対策として、令和 2 年 3 月の 1 ヶ月間を事業縮小したため利用者が減少。

(5) 有償福祉サービス事業

介護保険及び障害福祉サービスの利用者に対し、制度上利用対象外援助内容（院内介助・大掃除等）について契約の上サービスを提供する。

家事援助サービス	延べ利用者数	63人
	延べ利用時間数	42時間
※令和3年度		
	延べ利用者数	54人 延べ利用時間数93.5時間
院内介助サービス	延べ利用者数	71人
	延べ利用時間数	69時間
※令和3年度		
	延べ利用者数	94人 延べ利用時間数139時間

(6) 訪問援助員派遣

ひとり暮らし高齢者と子どもを養育している家庭(早期からの虐待予防が必要な状況の家庭)に対し、訪問し生活を支援する。 市委託事業

ひとり暮らし高齢者等 訪問援助員派遣	利用者はいなかった。 市の派遣決定を受けて訪問支援を行うもので、 市の決定者がいなかった。
養育支援	延べ利用者33人 市からの依頼により、年間33時間のサービスを提供。

【年度別数】ひとり暮らし高齢者等訪問援助員派遣

令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
0人	0人	0人	0人

【年度別数】養育支援

令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
11人	0人	13人	33人